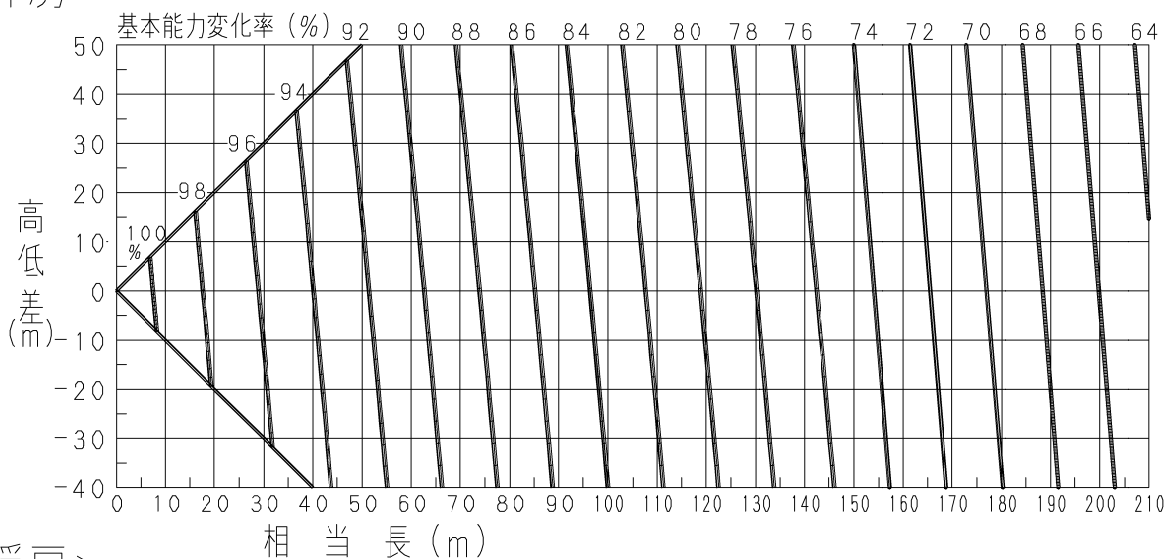


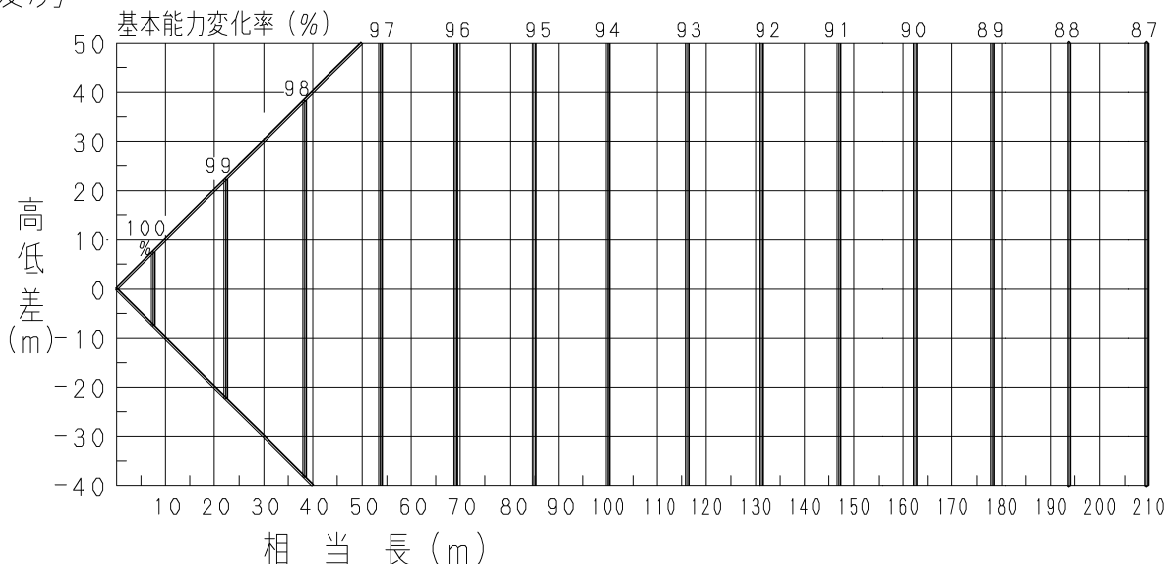
## ■ 能力変化特性

(冷媒配管長・高低差による能力補正係数(能力変化率÷100)は、下記線図より求めます。)

### < 冷房 >



### < 暖房 >



- 配管長による能力ダウンを改善する方法としてガス管の配管サイズアップによる方法があります。表1を参考にして対応してください。ただし、配管総和長は超えないようにしてください。\*サイズアップは、2ランクまでとしてください。また、冷媒追加量は液管サイズのみで決めてください。

表1 ガス管側の配管 (LM) をサイズアップしたときの相当長補正係数

基準配管径 (ガス管・mm)	φ12.7	φ15.88	φ19.05	φ22.22	φ25.4	φ28.58	φ31.75	φ38.1
変更後の配管径 (ガス管・mm)	φ15.88	φ19.05	φ22.22	φ25.4	φ28.58	φ31.75	φ38.1	φ41.28
相当長補正係数	0.4		0.5			0.6		0.7

ガス管側の配管 (LM) をサイズアップした場合には、表1の補正係数を掛けてLM部分の相当長を計算してください。

$$\text{サイズアップ後の配管相当長} = \text{基準配管相当長} * \text{相当長補正係数}$$

品番	CU-P224, P280UXPR5 (J) -P335, P400UXPR5 (J) -P450UXPR5 (J)	能力変化特性 ビル用マルチエアコン 新設・既設兼用 ハイグレード UXP5
図番	PA21-11-(70)	